



みずの さち  
水野 佐知 議員

## こぶしのさと

# 運営に関わりを持つか 施設と住民を繋ぐ役割を

**問** 指定管理者の選定で特に、重要視した点は。

**答** 渡辺 企画調整室長  
近隣施設や地域住民と

**問** 会議には定期的に参加し、関わりを持つか。

**答** 渡辺 企画調整室長  
町内外の交流施設として、地域の活性化を図ること、独立採算で安定経営を目指すこと、災害時の対応に取り組むなど。これ以外に、地域の状況を把握し、いかに地域に根差した活動ができるかである。  
応募申請書は、地域や関係機関との連携、地元住民向けのイベントや交流会の開催なども提案されている。  
また、休業前の経営状況の分析を行い、安定経営に向けた改善策が示されている。  
株式会社ファウンディングベースは、地域と共によりまちはづくりに取り組むことを掲げ、地域との関わりを持ちながら、課題解決に向けた取り組みをしている。

**答** 渡辺 企画調整室長  
こぶしのさとを繋ぐ役割をする。  
佐賀北部活性化協議会に運営スタッフと共に参加して、周辺施設とも徐々に繋がりを広めていく。  
更に、運営状況などについて定期的にミーティングを行い、地域と掛離れた運営にならないよう、積極的に関わる。



こぶしのさと傍のお遍路さん休憩所

**答** 渡辺 企画調整室長  
地域おこし協力隊を活用し、都市から地方へ住所を移し、地域協力活動

**問** 指定管理事業者や地域おこし協力隊の選定において工夫した点は。

**答** 渡辺 企画調整室長  
地域おこし協力隊を活用し、都市から地方へ住所を移し、地域協力活動

を行い、地域への定住を促すこと。  
ファウンディングベースは、地域おこし協力隊を活用した事業実績が多くあり、人材確保からマネジメントまで、一貫したスキルを有している。  
地方創生に意欲のある方に来ていただき、新鮮な発想と感性を持つて、地域とかわりながら活躍していただけると期待している。

**答** 渡辺 企画調整室長  
地域の各施設の連携を図ったり、外から人を呼び込むことで、地域の活性化と交流人口の拡大につながればと考えている。

**問** こぶしのさとを、人口減少対策総合交付金の事業の一つだが、どう考えるか。

**答** 渡辺 企画調整室長  
こぶしのさとを活用して、地域の活性化や交流人口、関係人口の拡大を図ることを目的としている。

地域との連携を図る。



再開を待たれる佐賀温泉 (令和7年1月)



ボイラー修理が完了した温泉タンク (令和7年1月)